

啓く-深く知る

小・中学校での国際理解講座

International Understanding Programs at Yokohama Elementary and Junior High Schools

青年海外協力隊OB・OGが赴き、国際理解講座を実施しました。次世代を担う子供たちがアジア太平洋地域の文化・歴史・生活を学び、国際理解を深め、将来について考える機会となりました。

* 期間

平成28年6月14日(火)～平成29年3月14日(火)

* 主催

横浜市

* 参加人数

約6,800人

* 内容

1 実施校

市立小中学校42校(小学校22校、中学校20校)

※国際理解講座実施校一覧は106ページ参照

2 配布資料

子供向けリーフレット(95ページ参照)

3 成果発表

子供たちが学習した成果を、3月にJICA横浜で開催された企画展「もっと知ろう!アジアのこと、国際貢献のこと」(51ページ参照)で展示しました。



西が丘小学校



港南中学校

啓く-深く知る

横浜商業高等学校の取組

Event and Project at Yokohama Commercial High School

横浜商業高等学校に、アジア開発銀行(ADB)駐日代表と、青年海外協力隊派遣経験者の方々をお招きし、ADB講演会を行いました。さらに、ミャンマーの若者達と手紙で互いの国の社会を学び、友情を培う「ペンパルコミュニケーション」を実施しました。

*会場

横浜市立横浜商業高等学校

*主催

横浜市

*内容

1 ADB講演会

日時：平成29年3月14日(火) 11:00~12:30

対象：横浜商業高等学校 商業科・国際学科
約280人

内容：

【第1部】講演

登壇者：松尾 隆 ADB駐日代表

テーマ：アジア開発銀行について

【第2部】パネルトーク

登壇者：青年海外協力隊OB

関 健作 氏(派遣国：ブータン)

青年海外協力隊OG

粉川 綾佳 氏(派遣国：バングラデシュ)

テーマ：青年海外協力隊の実体験に基づく国際理解
や国際協力の意義

2 ペンパルコミュニケーション

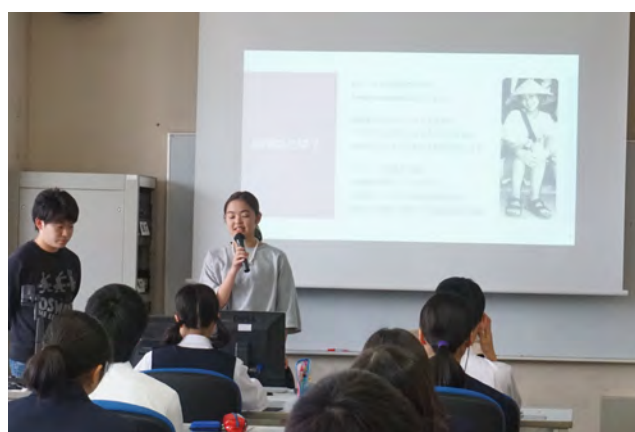
日時：平成29年4月24日(月) 12:50~14:30

対象：横浜商業高等学校 国際学科 117人

協力：特定非営利活動法人JUNKO Association



ADB講演会



ペンパルコミュニケーション

啓く-深く知る

桜丘高等学校の取組

Program at Sakuragaoka High School

「東アジア文化都市2014横浜」を契機に文化交流を継続してきた中国泉州市と韓国光州広域市の芸術団が桜丘高等学校を訪問し、互いに演奏し合う音楽交流を行いました。また、中国や韓国の伝統楽器に触れながら伝統音楽を学びました。

* 日時

平成28年10月2日(日) 13:30~17:00

* 会場

横浜市立桜丘高等学校 音楽室

* 主催

横浜市

* 参加人数

99人

* 主な参加者

泉州市 14人(関係者1人、泉州市南音楽団13人)
光州広域市 15人(関係者5人、風流会「竹禪房」10人)
高校生 70人



中国泉州市芸術団



韓国光州広域市芸術団

啓く-深く知る

第11回全国高校生金融経済クイズ選手権 「エコノミクス甲子園」神奈川大会

Kanagawa Prefectural Competition of 11th All Japan High School Economics Quiz Tournament

高校生の皆さんに楽しみながら金融経済について学んでもらうことを目的とするクイズ大会で、神奈川大会で優勝したチームは全国大会に参加することができます。

今回、第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会の横浜開催を記念し、ADB駐日代表による特別講演やADBに関連するオリジナルクイズの実施において、横浜市が協力しました。



エコノミクス甲子園ロゴ

***日時**

平成28年12月11日(日) 11:20~16:30

***会場**

横浜銀行本店ビル

***主催**

株式会社横浜銀行

***共催**

認定NPO法人金融知力普及協会、横浜市

***参加人数**

高校生参加者70名、その他22名

***内容**

神奈川県内の高校から35チーム、総勢70名の高校生が参加し、金融経済に関するクイズで熱戦を繰り広げました。ADBに関連するクイズ問題も数多く出題され、聖光学院高等学校チームが優勝しました。

また、松尾ADB駐日代表による特別講演では、ADBが国際社会の中で果たす役割をお話いただきました。



松尾ADB駐日代表の講演



クイズ選手権の様子

御挨拶

開催概要

横浜市の取組

参考資料

啓く-深く知る

横浜市立大学特別講演

Special Lecture at Yokohama City University

講師にアジア開発銀行(ADB)エコノミストの池田優希氏を迎え、ADBの活動やプロジェクト、グローバル社会で働く意義等についての特別講演「国際機関で働くということ、働くためには」を行いました。

* 日時

平成28年6月14日(火) 12:50~14:20

* 会場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCUスクエアY204

* 主催

横浜市立大学

* 参加人数

約300人

* 主な参加者

横浜市立大学在校生



池田ADBエコノミストによる講演

啓く-深く知る

横浜国立大学・横浜市立大学 フィールドワーク

Fieldwork by Yokohama National University / Yokohama City University Students

アジア開発銀行(ADB)年次総会公式プログラム「次世代育成セミナー」の事前調査として、横浜国立大学と横浜市立大学の学生がフィリピンを訪れ、アジアの途上国の都市課題解決に向けて、現地フィールドワークを行いました。

*参加人数

横浜国立大学10人、横浜市立大学10人

*内容

1 横浜国立大学 調査研究

- (1) 期間
平成29年2月17日(金)~26日(日)
- (2) テーマ
「貧困と格差を私たちはいかに減らすことができるのか? ~フィリピンでのフィールドワークから開発協力を考える~」
- (3) 内容
フィリピンの民間企業、NGO、国際機関などを視察調査し、貧困と格差の撲滅に向けた開発協力について可能性と課題を考察しました。
- (4) 担当教員
椛島 洋美 国際社会科学研究院教授

2 横浜市立大学 調査研究

- (1) 期間
平成28年8月12日(金)~13日(土)
平成29年3月14日(火)~19日(日)
- (2) テーマ
「フィリピンにおける日本企業の持続的経営の挑戦とその影響」
- (3) 内容
フィリピン・セブの10代の若者たちと日本食を売る起業体験、セブに進出している3つの日本企業(常石造船株式会社、株式会社グーン、株式会社ワーク・イングリッシュ)の視察を通じて、日本企業のフィリピンにおける持続的経営について研究しました。
- (4) 担当教員
芦澤 美智子 国際総合科学部 経営学コース准教授



横浜国立大学フィールドワーク



横浜市立大学フィールドワーク

啓く-深く知る

第50回アジア開発銀行年次総会
横浜開催決定記念 特別講演会

Special Presentation by ADB President

第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会の開催地が横浜に決定したことを記念し、中尾ADB総裁による特別講演会を行いました

講演会では成長著しいアジア経済の現状とアジア途上国の課題、アジア開発銀行の役割や取組についてお話しいただきました。

***日時**

平成27年9月2日(水) 10:00~11:00

***会場**

横浜ベイホテル東急 クイーンズグランドボールルーム

***主催**

横浜市

***参加人数**

約240人



講演中の会場の様子



講演する中尾ADB総裁

アジア開発銀行
チーフエコノミストとの懇談会

Discussion with ADB Economist

第50回ADB年次総会を前に、ADBのチーフエコノミストが来浜し、横浜市及び横浜国立大学の教授等とアジア経済をテーマにした懇談会を行いました。

***日時**

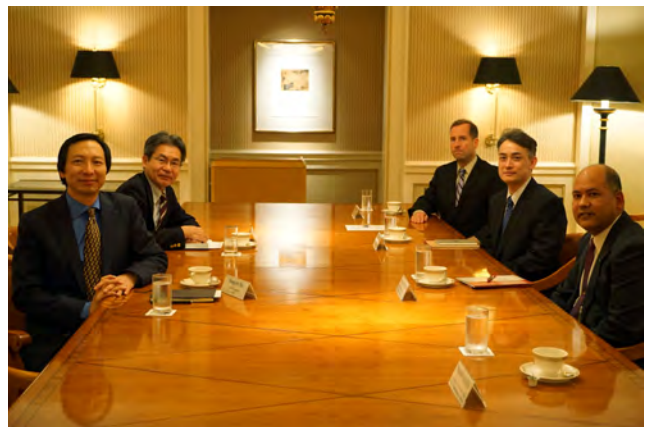
平成28年4月14日(木) 10:45~12:00

***会場**

横浜ロイヤルパークホテル プルミエール

***主な参加者**

- ・ チャンジン・ウェイ
アジア開発銀行チーフエコノミスト兼経済調査・地域協力局長
 - ・ 玉置友己
アジア開発銀行駐日代表
 - ・ 佐藤清隆
横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授
 - ・ パーソンズ・クレッグ
横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授
 - ・ シュレスト・ナゲンドラ
横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授
 - ・ 名倉 直
横浜市文化観光局アジア開発銀行年次総会担当部長
- ※実施日時点での役職で記載しています。



懇談会の様子